

「さげよう!!」平和の祈り

喜名小学校 五年 小湊 喜羽

「先生、戦争が来たよー!!」

「お母さん、助けて!」

「お水、お水!」

これは、うるま市石川にある宮森小学校に  
ジェット機が落ちたときの子どもたちのさげ  
びだ。

1  
六月十五日、祖父と祖母の三人で、石川の  
「歴史民俗資料館」に出かけた。そこには、

2  
当時の写真や新聞などが展示されていた。

宮森小学校にジェット機が落ちたのは、今  
から五十五年前（一九五九年）である。

わたしは、火たるまになって教室から出て  
来た子どもたちを見て、なんてぞんこくなん  
だろうと思った。また、焼けた体にはり付い  
た服をはがそうとすると、皮ふまではがれた  
そうだ。その様子を聞いたとき、わたしは、  
「何もつみのない子どもたちの上に、なぜジ  
ェット機はつい落したんだ!!」と、心の中で

さけんだ。また、このジェット機つい落事故  
 で子ども十二人・大人六人が亡くなった。重  
 軽しよう者も、子ども一五六人・大人五四人  
 いた。「こんなに多くの人々がぎせいになった  
 なんて……わたしは、とても悲しくなった。  
 もし、わたしがあの時代に生きていたら、  
 ぜったいにアメリカをゆるせなかつただろう。  
 ジェット機がつい落したとき、先生方も、  
 目の前で火だるまになった子どもたちを助け  
 ようと必死になっていたと思う。でも、どう

することもできなくてつらかったにちがいな  
 い。  
 「もう、二度とジェット機を落とさないで。  
 戦争が終わったというのに、またこんな悲  
 しいことが起こるなんて……」  
 「ジェット機の訓練は、アメリカでやっ  
 てくれ。」  
 「これ以上、沖縄の人の命をうばわな  
 いで。」  
 ジェット機つい落事故で子どもを失った親  
 たちも、つらい毎日を送っていたと思う。

沖繩では、今もオスプレイが訓練をしている。わたしの家の近くを飛んでいるオスプレイを見ると、宮森小学校のようにならないかとても心配だ。また、これ以上沖繩に基地をつくらないでほしい。沖繩にしかないきれいな海をうめ立てるのは自然をいかいすることになると思う。これからは、基地もない、オスプレイも飛ばない、沖繩だけの沖繩にしたい。そして、一人一人が笑顔でくらせる沖繩にしたい。

宮森小学校の中庭には、「仲よし地蔵」が立てられている。わたしは、沖繩だけでなく世界が平和になることをお祈りした。

戦争やジェット機つい落事故でなくなったみなさん、たくさんのごせい者を出した戦争や子どもたちの命をうばった宮森小学校のジェット機つい落事故も、わたしはぜったいに忘れません。そして、もう二度とあのような悲しい事故を起こさないでほしいです。

おいしいごはんを食べられる幸せ・温かいふとんの上でねむれる幸せ・友達と遊べて勉強できる幸せ、そんな幸せがいつまでも続くようにがんばります。

まだまだ、事故や事件などこわいことがあります。ありますが、少しずつ安心できる沖縄に変えていきたいです。

7  
今年のいいの日は、とくに、宮森小学校ジェット機つい落事故で亡くなったみなさんへ平和の祈りをささげた。

「香れよ香れ 月桃の花 永久とわに咲く身の  
花心 変わらぬ命 変わらぬ心 ふるさと  
の夏〜」

そして、妹と二人で「月桃の花」の歌を心をこめて歌った。